

先日、所用で東京に行くことができました。

東京からの帰り、羽田空港でお土産を買いました。

お土産って言っても自分のお酒のアテにする「柿の種」なんですけどね。(^^ゞ

外箱には「HANEDA ASSORT」って書かれてあったのですが、大阪の自宅で開けてみてビックリ。

お土産は、自宅から自転車で10分の池田市の石橋のお菓子屋さんで作っていたものでした。(+_+)

優しい我が家の家族にとって、こんな僕のオオボケは柿の種より大好物。

とーっても大声で笑っていただき、柿の種は「笑いのタネ」となりました。。(涙目) (T_T)

さて、今年は4年に1回のサッカーワールドカップ（W杯）がロシアで開催されます。

ところが、大会開幕まで約2カ月に迫った今月。サッカー日本代表のハリルホジッチ監督が解任されるという衝撃的なニュースが飛び込んできました。

日本サッカー協会の田嶋幸三会長は契約解除の理由を「選手とのコミュニケーションや信頼関係が多少薄れてきた」と記者会見で説明しました。

その詳細については知る由もないですが、その後のハリルホジッチ監督が激怒されている報道を見ると、そもそもサッカー協会と監督とのコミュニケーションに問題があったのでは？って思ってしまう。



「communication」の語源はラテン語の「communicatio」（コムニカチオ）。

意味は、「分かち合う」・「共有し合う」だそうです。

コミュニケーションはその本来の成り立ちからすると、「話す」、「聞く」だけでは不十分。

意味を理解し、意味を共有することが、コミュニケーションだと思うのです。

今の時代花盛りのSNSはもちろん、メールやLINEも、ただの一方的な「発信」であって、コミュニケーションの為の一手段。コミュニケーションそのものではありません。



最近、毎日のようにパワハラやセクハラのニュースが目につきます。

事象ばかり報道されますが、以前、労働基準監督署で相談員をしていた経験でいえば、職場のハラスメントの多くの場合、そこにいきつく迄のプロセスや背景に問題があるのだと感じています。

「××してはいけない」だけでは本当の問題解決にはなりません。

考えなければならないのは、やはりチームの「コミュニケーション」ではないでしょうか。

相手がどう思うか理解できない、あるいは理解しようとしない。同じ方向を見ていない背景・・・

結果、信頼関係の欠如につながると、目的を共にするはずのチームでは致命的です。

あらら、なんだかサッカー協会の会長の言い分と似てますね。

ちなみに「星の王子さま」の著者であるサン・テグジュペリは、こんなことを言っています。

『愛は見つめ合うことではない。ただ同じ方向を見ることだ』

「同じ方向」というのは、意味を共有し、目的を共有すること、つまり「コミュニケーション」。逆に無理に正対して見つめ合おうとするから、時にハラスメントに発展しちゃうこともあるように思うのです。



ファンのサッカー日本代表チームへの心配のタネは尽きないと思うのですが、今回の監督の電撃解任をどうか糧にして代表チームと上層部にはコミュニケーションを深めてほしいですね。

「Slum Dunk」という発行部数1億冊を超えるバスケット漫画の感動大作があります。

作者の井上雄彦さんは、その秘訣を「登場人物のひとりひとりに必ず欠点をつくること」と語ったそうです。

いろいろ欠点がある者が集まって、チームとして一丸となって前向きに頑張っていくからこそ、そこに感動のタネが詰まっているように思います。

日本代表の見つめる先を僕も心から応援するぞ。 ガンバレ日本！

